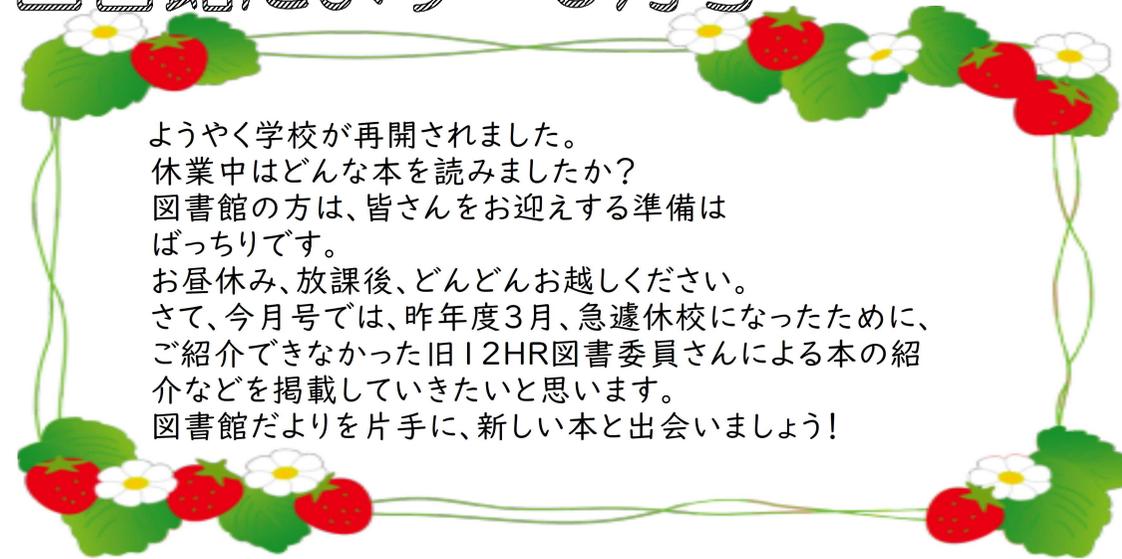


# 図書館だより 5月号

2020年5月27日発行  
阿波高校図書委員会



ようやく学校が再開されました。  
休業中はどんな本を読みましたか？  
図書館の方は、皆さんをお迎えする準備は  
ばっちりです。  
お昼休み、放課後、どんどんお越しください。  
さて、今月号では、昨年度3月、急遽休校になったために、  
ご紹介できなかった旧12HR図書委員さんによる本の紹介  
などを掲載していきたいと思ひます。  
図書館だよりを片手に、新しい本と会いましょう！

## ○元図書委員田所さん(2年生)のオススメ！

### 『ようするに、怪異ではない』

皆藤 黒助 著

日常の中で、身近に起きそうな事件の犯人を全て妖怪の仕業だと言ってしまう、  
妖怪好きの先輩女子、その人につきあわされている脱力系後輩  
男子、というようなユニークな性格の登場人物たちが、この本の  
魅力の一つです。そして、その2人が事件の謎を解き明かしたと  
ときには、なんともほっこりするような気持ちになるミステリー小説  
です。皆さんも、この2人のように、楽しい学生生活を作り上げて  
いきましょう！



## ○図書係うさもものオススメ！

さてさて、今月は何をオススメしましょうか。  
たいていは、今、読んでいる本であったり、過去に読んだことがあったりする本を紹介する  
のですが。今回は、『朝日中高生新聞』の「この勉強本がすごい！」のコーナーで見て、  
気になった本をご紹介します。と思ひます。  
というのも、この長い休み、みなさんはどんな風に「勉強」と向き合っているんだろう？と  
気になってまして。充実した休業期間を過ごせた人にも、課題に振り回された人にも、ある  
いは何もせず、ただただ反省しかない人にも。今一度、自分の勉強法を見直すきっかけに  
なれば、と思ひます。そして、読んでみて、よかったらまた感想をお聞かせください。

## 『勉強大全 ひとりひとりにフィットする1からの勉強法』

伊沢 拓司 著

著者は、高校生クイズで2連覇したこともある、クイズ番組  
「東大王」で有名な方で、現在はタレントとしても活躍中だ  
すね。そんな彼が、自分にフィットする勉強法を見つけるにはど  
うすればいいかを、分かりやすく解説してくれた本です。クイ  
ズも勉強も「自己分析」が大事ということみたいです。自分に  
ぴったりの勉強法を模索中の人、どうでしょうか？



## 『本物の英語力』

鳥飼 玖美子 著

この本では、英語を身につけるための本質的な方法が紹介  
されています。ネイティブ・スピーカーを目指すのはハードルが  
高すぎますが、著者はそうではなく、自分が使える「私の英語」  
を目指そうと提唱します。そして、覚えるのではなく、興味がある  
内容を英語で学ぼう！と。何よりも大事なものは、ポキャブラリー  
〔語彙〕だそうです。ここでも丸暗記ではなく、英語をたくさん読  
む、「多読」を勧めています。

阿波高生の皆さん、時間をかけてしっかり英語を勉強しまし  
ょうね。図書館にもディズニーとかの英語の本がありますよ。

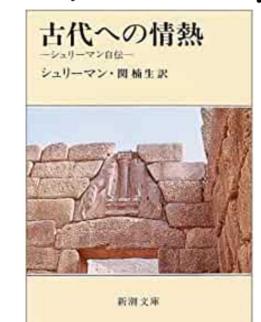


## 『古代への情熱』

シュリーマン 著

ラストは、世界史で学ぶ「シュリーマン」の著作です。  
シュリーマン、て誰？という人のために説明しますと、  
古代ギリシャ文明のトロイアやミケーネ地方の遺跡を発  
掘した人です。詳しくは世界史の授業で学んでください。

この著作では、彼がどのように語学を習得したかが描  
かれています。ラテン語〔かなり難しい古典言語、日本で  
言う古語〕を始め、様々な言語に挑戦した彼がどんな風  
に言語を習得していったのか、ぜひ読んでみてください。



6月号は3年生の図書委員さんが担当します。

